

財 務 会 計 論

本試験

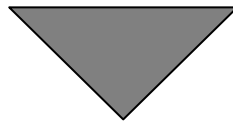
問題 10 金融商品の会計に関する次の記述のうち、正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。（8 点）

～ 略 ～

ウ. その他有価証券のうち、時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品以外のものについて、時価の著しい下落に伴う減損処理を行った場合には、簿価の切下げ額を翌期首に戻し入れる洗い替え方式ではなく、当該時価を翌期首の取得原価とする切り放し方式を適用する。

《解答 10》

ウ. 正 本肢の記述は正しい（「金融商品に関する会計基準」20, 22 参照）。



短答ポイントアップ答練 第 2 回

問題 13 金融商品の会計に関する次のア～エの記述のうち、正しいものが二つある。その記号の組合せの番号を一つ選びなさい。（8 点）

～ 略 ～

エ. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品以外の有価証券について時価が著しく下落したときは、回復する見込があると認められる場合を除き、時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は当期の損失として処理しなければならない。

《解答 13》

エ. 誤 本肢の記述は誤りである。なぜなら、本肢の処理（減損処理）は満期保有目的の債券、子会社株式及び関連会社株式ならびにその他有価証券が対象であり、売買目的有価証券については減損処理は行われないからである（「金融商品会計に関する会計基準」20 参照）。